

市議会だより おおだ

No. 43

2016(平成28)年5月19日発行

4月臨時会

- 正副議長選出
- 各常任委員会等役員決定 …………… 2

3月定例会 ~平成28年度一般会計予算可決 総額229億9,100万円

- 本会議で審議された議案…………… 3
- 一般質問に13人 …………… 8
- 特別委員長報告 …………… 15

元気に大きくなあれ!

伸び伸びと生活している
子どもたち (大田保育園)



大田市議会新体制スタート

よろしくお願ひいたします



副議長
木村 幸司



議長
内藤 芳秀

正副議長就任あいさつ

私どもは、過般四月の臨時市議会においてご推挙いただき、正副議長の要職を務めさせていただきましたことになりました。大変光栄でありますとともに、その職責の重大さを痛感いたしております。

現在、当市にあつては新大田市立病院の建設をはじめ、地域医療の確保、さらには人口減少、少子高齢化、集落機能の低下など喫緊の課題が山積いたしております。

これらの課題に対し、議会としても積極的に政策提言を行うなど、そのご期待にこたえるべく、大田市発展に全力で努力してまいります。

今後とも、市民の皆様方の格別のご理解、ご協力をお願い申し上げます。

◎委員長 ○副委員長

常任委員会

総務教育 7名

- ◎三浦 靖 ○松村信之 石橋秀利 有光孝次
- 内藤芳秀 河村賢治 胡摩田弘孝

民生 6名

- ◎福田佳代子 ○月森和弘 清水 勝 林 茂樹
- 石田洋治 森山幸太

産業建設 7名

- ◎小川和也 ○森山明弘 塩谷裕志 木村幸司
- 大西 修 松葉昌修 小林 太

議会 運営委員会 7名

- ◎月森和弘
- 松村信之
- 有光孝次
- 塩谷裕志
- 大西 修
- 三浦 靖
- 小川和也

広報 広聴委員会 9名

- ◎木村幸司
- 塩谷裕志
- 月森和弘
- 大西 修
- 松村信之
- 石田洋治
- 森山明弘
- 胡摩田弘孝
- 森山幸太

監査委員 (議会選出) 1名

- 林 茂樹

大田市立病院医療体制 検討特別委員会

19名(議長除く議員全員)

- ◎月森和弘
- 石田洋治

大田市土地開発 公社役員 8名

- 理事 石橋秀利
- 塩谷裕志
- 月森和弘
- 大西 修
- 小林 太
- 松村信之
- 小川和也
- 監事 石田洋治

総合戦略推進に重点!

平成28年度予算決まる 一般会計229億9,100万円

3月定例会は、3月1日から17日までの会期で開かれました。冒頭、竹腰市長から施政方針が表明されました。

平成28年度予算は、昨年10月に策定した「大田市まち・ひと・しごと総合戦略」に基づく事業や、竹腰市長が新たなまちづくりの一つとして取り組むとした「健康まちづくり」推進のための、新規事業などの審議を行いました。

また平成27年度一般会計・特別会計補正予算などを審議し、合わせて23議案を原案どおり可決しました。

そのほか、大田市の行政不服審査法施行条例制定をはじめ、条例の制定・改正15議案を原案どおり可決しました。

また、人権擁護委員候補者の推薦、議員提出による参議院選挙制度に関する意見書なども原案どおり可決しました。

(予算額は、千の桁を四捨五入)

「大田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」における基本目標ごとに予算をピックアップ!!

多様な産業を活性化し「はたらく場」をつくる

予算額 計75,519万円

三瓶町に栽培が予定されている醸造用ぶどう畑

主な事業

○6次産業化支援事業【新規】8,901万円

農業参入を計画している企業者の6次産業化を支援し、地域農業の中心的な担い手を育成します。

1

基本目標

「結婚」「出産」「子育て」の希望をかなえる環境をつくる

予算額 計50,873万円



主な事業

○保育士さんいらっしやい奨励金交付事業【新規】200万円

市外から大田市へ定住し、保育士として就労する方に奨励金を交付します。

2

基本目標

新たな「ひとの流れ」をつくる

予算額 計19,500万円



大田市にUターンで洋食店を開業

主な事業

○定住促進事業【拡充】4,585万円

空き家バンク制度の推進、ふるさと情報の発信や交流人口の拡大等の取り組みを通じ、定住人口の拡大を図ります。

基本目標

3

「交流」「連携」「協働」

により住みよいまちをつくる

予算額 計34,437万円



富山町で活動中の地域おこし協力隊員(一番左端)

主な事業

○地域おこし協力隊員等受入れ事業【新規】3,618万円

過疎化の著しい集落の支援、教育の魅力化を図るため、集落支援員及び地域おこし協力隊員を配置します。

基本目標

4

平成28年度 一般会計予算 主な新規・拡充事業

～大田市総合計画 施策体系別～

(単位：万円)

地域資源のネットワークによる活発な産業づくり(産業振興)		
産業振興プロジェクト推進事業	産業振興ビジョン実施にかかる経費 ○ふるさと大田創業支援事業外	1,317
仁摩地区道の駅整備事業	山陰道の全線開通時(平成32年度目標)を目処に、観光案内や産業振興の拠点として、仁摩・石見銀山IC出口正面に、道の駅の整備を進める	13,753
おおだの輝き発信事業	大田市の多様な魅力を発信するための経費	1,424

だれもが住みよく、安心・やすらぎを感じる生活づくり(保健・医療・福祉)		
子どものための教育・保育給付事業	保育園等及び地域型保育事業に対する給付費	130,150
健康まちづくり推進プラン策定事業	大田市健康まちづくり推進プランの策定	520
年金生活等支援臨時給付金給付事業	賃金引上げの恩恵が及びにくい低所得者に与える負担の緩和を行うための給付措置	1,810

県央の中核都市にふさわしい、快適な基盤づくり(基盤整備)		
街なみ環境整備事業	温泉津温泉街(市道湯乃街線)において、舗装の美化化等の景観整備を図る	6,500
防災安全交付金事業	市内5路線において、道路ストック総点検結果に基づく舗装改築事業の実施	9,500
社会保障・税番号制度導入に伴うシステム改修事業	社会保障・税番号制度の導入に向け必要なシステムの改修を実施	3,889

石見銀山をはじめとする歴史を生かした創造的な人づくり(教育・文化)		
石見銀山遺跡世界遺産登録10周年事業	「石見銀山遺跡とその文化的景観」世界遺産登録10周年に向け、事業を推進する	3,064
ESD推進事業	ESD(持続可能な社会の担い手を育む教育)の学校教育への普及を図る	48
スポーツ選手強化育成事業	全国大会に出場する選手(団体)に対する補助及び、トップアスリートと触れ合う機会を設け、スポーツ活動の活性化を図る	201

人事議案

▼人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めること(3件)

現委員である荒本由未氏(大代町)および泉玲子氏(仁摩町)の任期が本年6月30日満了のため、それぞれ後任として龍文子氏(大森町)、大谷久夫氏(仁摩町)を任命すること。同じく、現委員である松浦英篤氏(大田町)の任期が6月30日満了のため、同氏を再任することについて意見を求めたもので、任期は3年です。
いずれも異議なく同意しました。

議員提出議案

▼参議院選挙制度に対する意見書

人口格差にのみとらわれず、各都道府県単位の議

員を選出する制度を構築することなどを求める意見書

皆さんから

陳情

〔不採択〕

▼国民皆保険制度の維持・発展を求める意見書採択方

(陳情)民生委員会所管
(島根県保険医協会会長 岩田兼正)

理由

制度改正の根底部分で国民皆保険制度の堅持という方針が出されている中で、陳情内容が分かりにくく、つかみにくい。

〔継続審査〕

▼TPP協定を国会で批准しないことを求める意見書提出方

(陳情)産業建設委員会所管

(島根県農民運動連合会 代表 長谷川敏郎)

2月臨時市議会

審議された内容

【2月9日】

▼平成27年度一般会計補正予算

(第4号)

年金生活者等支援臨時福祉給付金給付事業 2億100万円

賃金引上げの恩恵が及びにくい低所得の年金受給者の方に支援を行うための給付金のうち、65歳以上の高齢者の方については平成28年前半の個人消費の下支えの観点から早期に支給するため、追加するもの。

4月臨時市議会

審議された内容

【4月20日】

▼平成28年度大田市病院事業会計補正予算

(第1号)

1億4831万1000円

基本設計の変更に伴い、実施設計の見直しを行い、建物整備費を増加するもの。

▼監査委員の選任につき同意を求め

【2月17日】

監査委員に林茂樹議員を選任することについて、議会の同意が求められ、これに同意しました。

全員協議会の議題

議案の審査または議会の運営
に
関し
協
議
・
調
整
を
お
こ
な
い
ま
す

1月25日

・ 仁摩道の駅(仮称)整備計画(素案)について

・ 大田市教育ビジョン基本構想(案)について

2月25日

・ 次期可燃ごみ処理システム調査検討事業について

・ 仁摩道の駅(仮称)整備計画(素案)について

3月1日

・ 大田市過疎地域自立促進計画(案)について

3月17日

・ 大田市公共施設総合管理計画について

平成28年度 一般会計予算 討論 ~要旨~

賛成

胡摩田 弘孝 議員

反対

大西 修 議員

新年度一般会計予算は、対前年度当初比0.1%減で限られた財源の中、予算編成には大変なご尽力があった。

産業振興は、地場産業の支援・育成、6次産業化の推進、販路拡大や企業誘致、人材の育成など総合的な施策が盛り込まれ、大いに期待する。

高齢化が進む大田市にとって、子育て支援、健康づくり、地域医療の充実・確保は、市民生活に直結した課題であり、安心して暮らせる社会の実現には欠くことの出来ない予算であり、評価するものである。

山陰道開通を視野に入れた「道の駅」整備計画は、休息機能のほか、情報発信、地域連携機能を果たす拠点施設として、計画的な整備を期待する。

協働のまちづくりの一環として、定住対策、公共施設の適正化、行財政改革推進事業、地域おこし協力隊員の活用など、着実な事業の実行を願う。

大田市の財政状況は、地方交付税等による依存財源に頼るところが多く、自主財源の確保、歳出の適正化が求められるが、財政健全化計画に基づき効率的な行政運営と、更なる改革の推進を望む。

反対する理由は次のとおり。

- ・ 大田市中心企業育成資金貸付制度。平成22年から5年間も実績がゼロである。貸付窓口を産業支援センターにするなど、見直しを求め。
- ・ 福祉ネットワークにじ販売拡大員設置事業が来年度終了する。障がいを持つ働く人の所得を支援する事業をなくすべきではない。
- ・ 個人番号カード交付関連事業。一人一人の社会保障の利用状況を国が一体で把握し、社会保障費の抑制・削減を「効率的」に進めようとするのが狙いであり、市民にとって個人情報の漏えいや不正使用の危険性を抱えるものとなる。今からでも凍結すべき。
- ・ 行財政改革。平成28年度に温泉津・仁摩支所の今後のあり方について検討するとしている。住民本位のまちづくりを進めるべきであり、支所の統廃合は許されない。職員の削減、各種補助金のカットなどは慎重にすべきである。

◇2月臨時会提出議案賛否一覧表

議案名等	議員名等	議決結果	賛対等	河村賢治	森山幸太	胡藤田弘孝	森山明弘	小川和也	三浦靖	石田洋治	松村信之	小林太	林茂樹	内藤芳秀	大西修	月森和弘	木村幸司	塩谷裕志	有光孝次	福田佳代子	石橋秀利	清水勝	松葉昌修	
■市長提出議案 議案第206号	平成27年度大田市一般会計補正予算(第4号)	原案可決	16 : 1	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	●	—

◇3月定例会提出議案等賛否一覧表

議案名等	議員名等	議決結果	賛対等	河村賢治	森山幸太	胡藤田弘孝	森山明弘	小川和也	三浦靖	石田洋治	松村信之	小林太	林茂樹	内藤芳秀	大西修	月森和弘	木村幸司	塩谷裕志	有光孝次	福田佳代子	石橋秀利	清水勝	松葉昌修
------	------	------	-----	------	------	-------	------	------	-----	------	------	-----	-----	------	-----	------	------	------	------	-------	------	-----	------

■市長提出議案

議案第207号	平成28年度大田市一般会計予算	原案可決	17 : 2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第208号	平成28年度大田市国民健康保険事業特別会計予算	原案可決	17 : 2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第209号	平成28年度大田市国民健康保険診療所事業特別会計予算	原案可決	19 : 0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第210号	平成28年度大田市後期高齢者医療事業特別会計予算	原案可決	17 : 2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第211号	平成28年度大田市介護保険事業特別会計予算	原案可決	17 : 2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第212号	平成28年度大田市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算	原案可決	19 : 0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第213号	平成28年度大田市生活排水処理事業特別会計予算	原案可決	19 : 0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第214号	平成28年度大田市簡易給水施設事業特別会計予算	原案可決	19 : 0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第215号	平成28年度大田市農業集落排水事業特別会計予算	原案可決	19 : 0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第216号	平成28年度大田市大田市駒辺土地区画整理事業特別会計予算	原案可決	19 : 0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第217号	平成28年度大田市下水道事業特別会計予算	原案可決	19 : 0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第218号	平成28年度大田市下水道事業特別会計予算	原案可決	17 : 2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第219号	平成28年度大田市病院事業会計予算	原案可決	19 : 0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第220号	平成27年度大田市一般会計補正予算(第5号)	原案可決	19 : 0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第221号	平成27年度大田市国民健康保険事業特別会計補正予算(第4号)	原案可決	19 : 0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第222号	平成27年度大田市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決	19 : 0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第223号	平成27年度大田市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決	19 : 0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第224号	平成27年度大田市生活排水処理事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	19 : 0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第225号	平成27年度大田市簡易給水施設事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決	19 : 0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第226号	平成27年度大田市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	19 : 0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第227号	平成27年度大田市下水道事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決	19 : 0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第228号	平成27年度大田市下水道事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決	19 : 0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第229号	平成27年度大田市病院事業会計補正予算(第3号)	原案可決	19 : 0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第230号	大田市行政不服審査法施行条例制定について	原案可決	19 : 0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第231号	大田市情報公開条例等の一部を改正する条例制定について	原案可決	19 : 0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第232号	大田市職員の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	19 : 0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第233号	大田市職員の勤務時間に関する条例等の一部を改正する条例制定について	原案可決	19 : 0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第234号	大田市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	19 : 0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第235号	大田市市長、副市長及び教育長の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	19 : 0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第236号	大田市税条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	19 : 0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議案名等		議員名等																								
		議決結果	賛成	反対等	河村賢治	森山幸太	胡摩田弘孝	森山明弘	小川和也	三浦靖	石田洋治	松村信之	小林太	林茂樹	内藤芳秀	大西修	月森和弘	木村幸司	塩谷裕志	有光孝次	福田佳代子	石橋秀利	清水勝	松葉昌修		
■市長提出議案																										
議案第237号	大田市地域振興を促進するための固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	17 : 2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第238号	大田市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	17 : 2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第239号	大田市指定地域密着型サービス事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	17 : 2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第240号	大田市指定地域密着型介護予防サービス事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	17 : 2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第241号	大田市農業委員会の求めにより出頭した者に対する旅費支給条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	19 : 0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第242号	大田市手数料条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	17 : 2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第243号	大田市火災予防条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	19 : 0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第244号	大田市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	19 : 0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第245号	大田市過疎地域自立促進計画の策定について	原案可決	19 : 0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第246号	大田市過疎地域自立促進計画の策定について	原案可決	19 : 0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第247号	市道路線の変更について	原案可決	19 : 0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第249号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	賛議なし	19 : 0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第250号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	賛議なし	19 : 0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第251号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	賛議なし	19 : 0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
■議員提出議案																										
議案第248号	大田市議会議員の議員報酬及び費用弁償支給条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	19 : 0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第10号	参議院選挙制度に対する意見書の提出について	原案可決	17 : 2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
■陳情																										
陳情第11号	国民皆保険制度の維持・発展を求める意見書採択方について	不採択	17 : 1		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情第12号	TPP協定を国会で批准しないことを求める意見書採択方について	継続審査			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議決結果																										
賛成																										
反対等																										
木村幸司																										
森山幸太																										
胡摩田弘孝																										
森山明弘																										
小川和也																										
三浦靖																										
石田洋治																										
松村信之																										
小林太																										
松葉昌修																										
河村賢治																										
林茂樹																										
大西修																										
月森和弘																										
木村幸司																										
塩谷裕志																										
有光孝次																										
福田佳代子																										
石橋秀利																										
清水勝																										
内藤芳秀																										

◇ 4月臨時会提出議案等賛否一覧表

議案名等	議員名等	議決結果	賛成	反対等	木村幸司	森山幸太	胡摩田弘孝	森山明弘	小川和也	三浦靖	石田洋治	松村信之	小林太	松葉昌修	河村賢治	林茂樹	大西修	月森和弘	木村幸司	塩谷裕志	有光孝次	福田佳代子	石橋秀利	清水勝	内藤芳秀
------	------	------	----	-----	------	------	-------	------	------	-----	------	------	-----	------	------	-----	-----	------	------	------	------	-------	------	-----	------

■市長提出議案																										
議案第253号	専決処分(平成27年度大田市一般会計補正予算(第6号))の承認について	承認	19 : 0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第254号	平成28年度大田市病院事業会計補正予算(第1号)	原案可決	19 : 0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第255号	監査委員の選任につき同意を求めることについて	同意	18 : 0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
■議員提出議案																										
議案第252号	大田市議会会議規則の一部を改正する規則制定について	原案可決	19 : 0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第11号	地域の実情を反映した地域医療構想を求める意見書の提出について	原案可決	19 : 0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※定数20名、うち議長(内藤芳秀)は採決に加わりません ※○は賛成 ●は反対等(反対、継続審査、態度保留等々) ※除は除斥(当該議員の一身または利害関係のある議案のため採決等議事には加わりません)

いっぱん質問

市政に対する一般質問は、3月3日、4日に行われ、13人の議員が執行部の考えをたどりました。質問と答弁の要旨は次のとおりです。掲載する質問事項は、紙面の都合上、広報広聴委員会で選定し、1人1議題としています。(これまでの内容は、ホームページ(<http://www.city.ohda.lg.jp/>)で閲覧できます。)

▲子どもたちの健やかな成長を祈願するため町内の家庭より提供を受けた「こいのぼり」(川合町)

大田市教育ビジョン基本構想を問う

わが里を誇り、大田と世界の未来をひらく



木村 幸司 議員

質問

①教育ビジョン基本構想で、計画推進の取り組みとして随所に連携という言葉が使われている。所管も組織体も違う団体で、連携するということは大変困難である。どのような手法で連携するのか。

②学校・家庭・地域が役割を自覚して、協働して目標の達成ができる取り組みとは、どのような取り組みか。

③ワークショップにおいて、キーワードの中に「学力の向上」がないのはなぜか。

答弁

①連携するには、0歳から18歳までの教育及び生涯を通

じて取り組む教育の基本的な方向性を共有できるよう、啓発普及に努めたい。そのために、各機関・団体などが連携・協議する場を設けたい。

②目標達成のため、(ア)地域に開かれた学校づくりを推進する(イ)地域住民が学習支援や環境整備、登下校の見守りなど学校を支える活動(ウ)放課後の居場所確保の実施(エ)家庭教育の充実を図る取り組みが必要だと考える。

③関連するキーワードとして、自己教育力、調和のとれた学力、たくましく生き抜く力を掲げている。また、学力向上とは、確かな学力であり、それをキーワードとして盛り込んでほしいという意見もあり、そういったことを踏まえ、教育ビジョンを策定している。



▲大田市民センターで開催された「大田市教育ビジョン」広聴会の様子

市内幹線道路網整備方針と 改良率整備進捗は

道路基盤の整備は一つの柱であり 整備状況などの周知も努めていく



有光 孝次 議員

答弁

山陰道開通に合わせた道路整備は重要施策の一つと位置づけ、国、県に要望を働きかけ、それぞれの整備を行っている。

国道のうち山陰道については、大田市内では整備率34.2%、その他の国道は100%。県道は改良率71.7%、市道では改良率48.1%となっている。また、都市計画道路は、55.2%の整備率である。

質問 山陰自動車道は5年後の平成32年度、全線開通を目標とする中、大田朝山間が平成29年度、多伎朝山間が30年度に開通予定となった。

市内幹線道路網の整備状況については、関係者以外にはよくわからず、整備計画や予定、進捗状況が見えないという印象を市民に与えることがある。

これまで以上にスピードアップした手法での対応をどのようにすべきかを含め、市内幹線道路網の整備方針、改良率、整備進捗について問う。

今後引き続き、安全、安心の確保、日常生活の利便性の向上や市街地の活性化はもとより、地域間を結び交流の促進を図るものとして、国、県と協力し整備促進に取り組み、道路ネットワークの強化を図っていく。



▶朝山インターチェンジ建設中

市長が示す施政方針での 「健康まちづくり」構想とは

大田市全体がスマート・ウェルネス・シティ、 観光の側面から健康保養都市をおおだを目指す



小林 太 議員

さるよう歩いて暮らせるまち、自転車で気軽に移動できるまちづくりを進める。

二つには、人、まち、社会の健康まちづくりという観点のもと、健康ウォーク等の取り組みの成果や課題を検証し、人材育成や環境整備方針、医科学的裏づけを持った新たな健康プログラムなどの策定を推進し、大田市版クールトを確立する。

さらには一年を通じて健康づくりを楽しみ、心身ともにリフレッシュでき、歴史を探訪し、自然を五感で楽しみ、そして何度でも訪れたいくなる滞在型の観光地としたい。

大田市全体がスマート・ウェルネス・シティ、そして観光の側面から健康保養都市を目指す。

質問 市長が施政方針で示された「健康まちづくり」構想では、まち、そのものが健全で健康である、まちづくりが重要であり、ヘルスツーリズムなどの取り組みを通じ、大田市版クールトを確立して「健康保養都市おおだ」を目指すことと述べられている。これらの施策でどのような課題を解決し、新しい大田市を目指すのか問う。

答弁

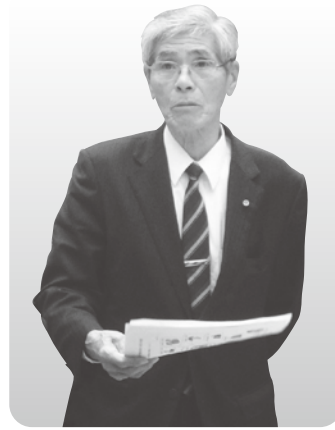
一つには、コミュニティの再生や健康づくりにつながり、交通弱者対策として健康関連産業における需要の拡大また医療費抑制に向けた社会的要請課題に寄与で



▶温泉津地区で開催された健康ウォーキング

アベノミクスは、地方や一般生活者には好循環が及んでいない。地方・くらし・雇用の創生が急がれる

国県の動向を注視し総合的に慎重に推し進める



清水 勝 議員

休暇制度の拡充などに努めている。
②本市のひとり親家庭は、平成12年の160世帯から平成27年には約500世帯と3倍に増加している。子どもへの貧困対策を総合的に推進するため、教育分野、福祉分野等の協力を図りつつ、地域の実情に即した効果的施策に取り組む。

また、ご提案の給付型支援制度も含めて総合的に検討する。

③法人税減税に伴う影響は、1100万円程度と試算している。市債の借り換えは、既に実施しているが、今後の金利動向を注視する中で慎重に判断する。

質問
①市役所の職員採用や非正規職員の処遇改善と公契約の事業所・指定管理者に雇環境の善処を求める。
②子育て支援として学生ローン化している奨学金制度を、定住に結びつく給付型に見直しを。
③法人税減税とマイナス金利政策による影響と高利率の市債の借り換えを。

答弁

①雇用や処遇の底上げについては、合併後、まちづくりセンター職員、包括支援センター職員、地域おこし協力隊員など増加傾向にある。また、臨時・嘱託・パート職員の処遇も必要に応じて随時賃上げや



地域資源を教育に活かして

大田市ならではの特色ある教育を実現する



森山 幸太 議員

山や琴ヶ浜、里、山、海、そして、ひととしているが、大田市にあるさまざまな有形無形の遺産の尊さを自覚し、誇りを持って継承することを重点目標としている。

そして、現在、学校で取り組んでいるふるさと教育等に持続可能な社会づくりの担い手育成の教育、いわゆる「ESD」の視点を導入していく。さらに、恵まれた地域資源である「あるもの」を教育に活用すること

質問
平成27年4月に施行された地方教育行政法により、すべての地方公共団体に教育に関する総合的な施策である大綱を策定することが定められた。それに伴い大綱である大田市教育ビジョンを策定された。ビジョンにある教育の魅力化に向けて、教育資源となり得る地域資源が本市にはあり、これを活かす必要があると考えるが所見を伺う。

答弁

大田市には、自然、歴史、文化などさまざまな地域資源があり、大田市教育ビジョンでは、「あるもの」と表現している。こうした「あるもの」を活かす、具体的には石見銀



▲朝波小学校

個人番号は、提供の拒否ができる！

原則、個人番号の提供をお願いする



大西 修 議員

令において規定されている。なお、個人番号の提供を義務づけられたものについては、法定義務であることを説明の上、提供していただくようお願いをする。一方、個人番号の提供を義務づけられていないものについても、原則、個人番号の提供をお願いするが、仮に拒否された場合には、個人番号の提供を受けないまま申請書を受け付けることとなる。

質問 マイナンバー法は、個人の所得や社会保障の給付状況を、行政が簡単に識別するために番号をつけるものである。行政にとっては便利だが、市民にとって利便性はほとんどない。また、市民は情報漏えいなど大きな不安を抱えている。窓口で番号記載を拒否した場合の対応を伺う。

答弁 これまで個人番号の提供を拒否された例はない。個人番号を利用する事務には、個人番号の提供を義務づけられたものと義務づけられていないものがあり、提供を義務づけられているかどうかは、それぞれの事務に係る個別の法

個人番号カードの様式



ブロックによる持続可能なまちづくりを

コンパクトで持続可能なまちの形成に取り組む



内藤 芳秀 議員

質問 まちづくり委員会の活動として、生活機能の確保、地域交通の確保、地域産業の育成の3大課題に取り組み「小さな拠点づくり」を進め、持続可能なまちづくりの展望を示す必要があると思いが、見解を伺う。

答弁 昨年10月に策定した大田市まち・ひと・しごと創生総合戦略の基本目標4の中で、コンパクトで持続可能なまちの形成を掲げており、「持続可能な地域の維持・活性化」「地域拠点のネットワーク化による生活環境の維持」「交通・買物弱者への支援」の3項目に取り組むこととしている。さらに、国や県の掲げる

小さな拠点づくりの考え方に加え、大田市独自のまちづくりの要素も取り入れ進めていく。



▲中央まちづくり委員会事業(昨年度実施された代官芋苗植えつけの様子)

生活習慣病予防は、子ども時代から

関係者と連携し、正しい知識の普及と実践に取り組んでいる



石田 洋治 議員

デニアとのつき合い方の指導など、保育園、幼稚園、学校、地域、食育ボランティア、医師など多くの関係者と課題、問題点を共有し、連携のもとで正しい知識の普及と実践に取り組んでいる。課題としては、子どもの食生活の乱れや運動不足など生活習慣病に起因することがある。

平成4年度から小学4年生と中学1年生を対象に、貧血と脂質の血液検査を実施しており、検査結果については、要注意者20%前後、要精検者5%前後と指摘されている状況である。胃がんリスク検査について、学校現場での対応は今後の検討課題とする。

質問

生活習慣が原因で発症する高血圧症や動脈硬化、糖尿病などが子ども間に急増している。学校健診で血液検査を行い、健康指導や早期受診を促す事例や、中学3年生にピロリ菌検査を実施し、胃がんリスクの軽減が図られている事例もある。

大田市の子どもの生活習慣病予防対策の現状と課題、学校健診での血液検査の状況、胃がんリスク検査について所見を伺う。

答弁

妊娠期からバランスのよい食生活習慣の確立、乳幼児期から学童期の子どものその保護者を対象とした生活習慣の改善やメ



▲保健学習の授業風景(高山小学校)

竹腰市政、10年間の総括的評価は

激動の厳しい情勢下、人口減少対策を最重要課題に取り組んだ10年であった



三浦 靖 議員

育て支援を柱に定住支援センターを設置し、人口減少対策を最重要課題に取り組んだ10年でもあった。さらに、医療をめぐっては医師確保が大変困難になり、この10年は地域医療再生に奔走した。

また、石見銀山遺跡の登録10周年を来年に控え、遺跡を守り生かす取り組みは一層活発化、新たな段階を迎えているところでもある。

質問

1市2町の合併による新生大田市が発足して10年が経過した。「自然・歴史・ひと」が光り輝く誰もが住みよい県央の中核都市の実現を目指した「大田市総合計画」の進捗状況を踏まえ、竹腰市政のこの10年間をどのよう総括的評価をされているのか所見を伺う。

答弁

この10年は、政治も経済も大きく変化し、地域経済や地方自治をめぐっては激動の厳しい情勢下にあった。行財政改革は、喫緊の課題となり、平成18年度を改革元年とし、集中改革プランを策定。また、定住元年とも位置づけをし、産業振興、子



▲平成27年10月に策定された大田市まち・ひと・しごと創生総合戦略

新しい総合事業をまちづくりの戦略に

環境の整った地域から事業を導入したい



胡摩田 弘孝 議員

い総合支援事業を創設した。これは、予防対策としてのホームヘルプやデイサービス事業を市町村の創意と工夫で行うということとしたものであり、市としては、この事業を有効に活用して、総合事業の目的である介護予防の強化と住民などによる地域で支え合う体制づくりを進めたい。

また、介護予防を必要とする多くの方にとって、安心して利用できる通いの場が地域の住民などにより開設運営される仕組み、すなわち、この取り組みが住民を支えるまちづくりと捉え、積極的に取り組んでいく。さらに担当職員が、地域の実情に合わせ地域の皆様と丁寧話し合いを始め、環境の整った地域からこの事業を導入したいと考えている。

答弁

質問 昨年4月に「新しい介護予防・日常生活支援総合事業」略して「新総合事業」が制度化された。この事業は今まで介護保険でプロの方にお世話を頂いていた介護を、これからは地域の住民の皆さんも参画して頂き、地域で支え合う仕組みづくり、体制基盤の整備を図ることを目的としている。

市として、この新総合事業をまちづくりの戦略としてどう捉えておられるのか。どのような方針・事業をお考えなのか伺う。

国は、要支援者など比較的に軽度な方を対象とした、新し



▲「介護予防のまちづくり」研修会(久利会場)

大田市学校再編実施計画の課題と今後の進め方は

計画未達成の枠組みの再編・統合が課題である



森山 明弘 議員

ている学校として、小学校1か所、中学校2か所である。

②平成28年度に「大田市学校再編実施計画」を検証する委員会を設置し、これまでの学校再編の検証を行うとともに、地域性や様々な現状を把握し、今後の方向性については検討し、明らかにしていく。

質問

大田市学校再編実施計画について次の2点を伺う。

①平成21年度からほぼ7年が経過しようとしているが、進捗状況として、9事業のうち、計画どおりの統合が3事業、部分的な統合が3事業となっている。計画を遂行するにあたり、残された課題について。

②平成29年度以降の進め方について。

答弁

①残された課題は、計画未達成の枠組みの再編・統合ということである。未実施の枠組みは、小学校3か所、部分統合の状態が続い



▲平成26年度に温泉津中、仁摩中の2校統合により開校した「大田西中学校」

健康なまちづくりを

大田市健康まちづくり推進プランを策定し、健康づくり活動の推進に取り組み



小川 和也 議員

質問

①第3期大田市健康増進計画及び大田市スポーツ推進計画について、これまでの取り組みや成果、次期計画の考え方を伺う。

②大田市健康増進計画と大田市健康増進プランの違いを伺う。

③健康のまちづくりを推進させ、市民総参加型の取り組みを目指すため、健康まちづくり推進条例を制定すべきであるが考えを伺う。

答弁

①大田市健康増進計画は、重点施策を設定し、改善に向け取り組んできた。成果として、食育ボランティアの養成は目標値に達したが、健康管理面では検診受診率は伸び

ているものの、目標値の達成には至っていない状況である。今後は国保のレポート等のデータ分析を行い、数値に基づき予防策・健康対策を行う。

大田市スポーツ推進計画については、10項目の課題を掲げ、この解決に向け具体的な取り組みを進めてきたが、2項目について未着手である。現計画の理念を継続しつつ、これまでの十分な検証をし、スポーツ推進審議会などでの検討を経て策定していく。

②大田市健康増進計画は、健康寿命の延伸と健康格差の縮小をしていくものであり、大田市健康まちづくり推進プランは、人・まち・社会の健康づくりを推進していくものである。

③新年度においてプランを策定し条例制定については、プラン策定後改めてその意義や必要や必要性について検討する。



▶住民主体で取り組んでいる健康づくり（ウォーキング風景）

温泉津・仁摩支所の今後のあり方は

年内に統廃合を含め、その方向性を明らかにする



福田 佳代子 議員

質問

平成の大合併で新生大田市として歩んできて10年が経過した。施政方針では、行財政改革で支所のあり方について平成28年内に検討する・方向性を明らかにするとしている。

合併時、温泉津町では、職員32名が今は4分の1の8名となり、支所機能が低下している。仁摩町も同じだ。支所はまちづくりの拠点として位置付け、充実すべきと思うがいかがか。

答弁

市としては、市内27カ所のまちづくりセンターがまちづくりの拠点であると考えている。今後の支所のあり方については、現在、

内部協議を進めているところである。引き続き市民生活に大きな支障を来すことがないことを前提に、協議、検討を重ね、年内に統廃合を含め、その方向性について明らかにする。



▲温泉津支所



▲仁摩支所 市民生活課窓口

行財政改革特別委員長

最終報告



三浦 靖
委員長

去る2月25日、第17回委員会を開催した。

① 事務事業評価の対応方

執行部の新年度における対応に関して、概ね当委員会が示した方針に沿ったものであり、新年度事業案に反映されているものもあった。

意見では、恣ゆのつについて、非常にデリケートな問題ではあるが、時間的な制限もある。役員や株主の皆様への協議を進め課題解決に向け進めてほしい。

② 無償貸付の土地の取扱い

今後は、市有地の取扱いについて、減免や軽減措置等を設けた上で、原則として有償化し、事業者負担の平準化と自主財源の確保を図ることとする。また、減免策については、社会福祉施設は70%以内、自治会は100%以内ということであり、5年間の軽減措置を行う中で、初めの3年間は特別な激変緩和措置を講じる。

質疑として、事業者側から貸付市有地の取得の意向を示された場合の対応方は、また、その際における価格の設定は、の問いに、継続して目的事業を実施していただけることを条件に基本的な適正評価額で市有地の譲渡に応じる考えである。

③ 第3次大田市定員適正化計画

今後5年間の職員削減目標を大幅に緩和した5名とし、年齢構成バランスを十分に考慮した職員採用を行い、円滑な世代交代と年齢構成の平準化を図るとの方針が示された。

意見として、資格職(建築技師・土木技師や保健師)の採用に関して、十分に配慮してほしい。

④ 委員会活動の総括

議会の有する執行機関への監視・調査・政策提案機能を発揮し、一定の役割を果たし充実したものであった。また、担当職員を交えた現地調査や事務事業評価を実施することで、様々な角度から行財政改革に取り組むことができたのではないかと。本委員会は合意形成のために議員間相互の自由討議が多くなった。

引き続き、行財政改革特別委員会を設置し、執行部においては「改革断行」「選択と集中」という初心を忘れることなく、事業執行に努めていただくことを総意で確認した。

大田市立病院医療体制検討

特別委員長 中間報告



月森 和弘
委員長

第7回委員会を昨年12月15日開催、執行部から新病院建設事業の見直し、基幹型臨床研修病院の再指定等について説明を受け質疑を行った。

問 地域医療構想で示された病床数の見直し案について到底受け入れない、見直し案229床は担保されるのか。

答 県全体の削減30%は変わらないと考える。圏域での調整となるが、どの地域も受け入れることは非常に厳しいと思う。しかし、この数字が新病院建設に影響しない。

問 引き続き大田圏域での慢性期対応は必要でないか。

答 慢性期対応は、今しばらくやめることはない。

問 島根大学医学部との関係で、総合医療センターは一定の成果を得てきているが、同センターが新病院に移行するまでの位置づけは。

答 同センターがなければならぬとは思わないが、このセンターを設けたことで人の流れなど、病院は活性化した。今後、どのような形で運用していくのか、センターとして活用ができるのか、検証したい。

第8回委員会は2月26日に開催、新病院建設事業の見直し状況等について協議した。

執行部から基本設計や予算の概要説明があり質疑を行った。

問 DPCC(包括医療費支払制度)については、患者側に立てば医療の質が上がると思えないが。

答 危惧することはない。全国で取り組んでいる病院がたくさんある。DPCCは今、国の流れである。

問 入札契約方法について、事業費の削減につながるのか、入札の不落に危惧を感じているが。

答 大規模かつ専門性が要求される工事であり、不落・不調の発生状況がある中で、様々な観点でよりベストな手法になるようにしたい。

問 建設財源での過疎債の見直しは。最大限の配分を求めたい。

視察受け入れ

視察日	議会名	人数	視察項目
1月18日	福岡県宗像市	7名	世界遺産認定後のまちづくり
1月20日	徳島県鳴門市	9名	おおだ定住促進協議会 石見銀山、世界遺産登録後の現状
2月9日	山形県高畠町	9名	定住化促進ビジョン

新広報広聴委員会委員紹介

4月20日に開催されました臨時議会で、委員会のメンバーも新体制となりました。今回は、8名から9名へ増員された広報広聴委員の紹介をします。心機一転、さらに親しまれる市議会だよりづくりを目指していきたいと思ひます。よろしくお祈ひします。“私が目指す広報誌！”と題して一言抱負を述べます。

大西 修 委員

委員3年目になります。市民の皆さんの要望に応えられて、親しまれるよう努力します。

木村 幸司 委員長

センスと経験で、見やすく・読みやすい広報誌を目指して頑張ります！

塩谷 裕志 副委員長

何ごとも前向きに、愉しく、和をもって、市民に分かりやすい広報づくりに努めます。

月森 和弘 委員

地方議会の役割や責任は大きく、改めて議員の顔が見える市議会誌になるよう努めたい。

石田 洋治 委員

様々な情報手段がある中、市民との情報の共有化を図り、読みやすい紙面づくりを目指します。

松村 信之 委員

新たに再任された私ですが、議会の活動を市民の皆様へ解りやすくお伝えできるよう努力いたします。

胡摩田 弘孝 委員

議会情報の提供、分かりやすい紙面づくりを目指します！

森山 明弘 委員

広報広聴委員3年目になります。より読み易い紙面づくりに努めてまいります。

森山 幸太 委員

市民の皆様が、議会だよりをご覧になり満足されるよう、工夫を凝らして広報誌作成に努める所存です。



議会傍聴のご案内

次の定例会は
6月3日～17日の予定です。
市議会を身近に感じる良い機会です。
お気軽にお越しください。

- ◇傍聴席は定員64人です。
- ◇多数で傍聴に来られる場合は、あらかじめ議会事務局へご連絡ください。

役員改選により、後半任期一年間、広報広聴担当の委員長に就任いたしました。

「情報の提供と共有化」を図るためにも、情報発信の中心となつて、議会の真意が伝わる広報誌となるよう努めてまいります。また、広報広聴委員の皆様方とともに、市民の皆様へ、手にとつてご覧いただけるよう、読みよく・見やすい紙面づくりに取り組んでまいります。

あわせて、今年度も議会報告会を開催いたします。皆様には、議会広報誌、あるいは議会活動等々、いろいろなど意見をお聞かせ下さいますようお願いいたします。

(木村 幸司)

編集後記